

2007年 7月 松坂屋月次営業報告

1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)	入店客数(%)	営業日数増減
名古屋店	7.1	49.4	4.7	±0日
岡崎店	7.0	2.2	8.2	±0日
名古屋駅店	6.4	4.3	0.1	±0日
豊田店	5.2	3.4	3.3	±0日
高槻店	10.5	5.5	5.1	±0日
上野店	1.0	19.6	4.3	±0日
銀座店	6.4	5.8	5.9	±0日
静岡店	3.2	9.8	10.3	±0日
合計	5.6	100.0	3.7	

2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	10.6	5.7
婦人服・洋品	9.5	23.7
子供服・洋品	17.9	1.8
その他衣料品	16.9	3.5
衣料品計	8.1	34.6
身の回り品	0.9	9.4
化粧品	1.0	2.5
美術・宝飾・貴金属	4.4	8.1
その他雑貨	4.6	6.0
雑貨計	4.0	16.6
家具	8.4	2.3
家電	40.4	0.5
その他家庭用品	0.6	3.4
家庭用品計	8.1	6.2
生鮮食品	1.2	4.5
菓子	0.7	6.5
惣菜	3.1	7.9
その他食料品	11.9	11.1
食料品計	5.8	30.0
食堂・喫茶	15.8	2.4
サ－ビス	14.0	0.5
その他	1.1	0.4
合計	5.6	100.0

3. 商況概況

< 主な店舗別売上高概況 >

- ・全店売上高は対前年 5.6%。クリアランスセール立ち上がり日の6月への移行や、台風4号など天候不順の影響による。入店客数も3.7%と、前年を下回った。
- ・中元ギフトは、インターネットが売上を伸ばしたが、6月・7月の中元ギフト売上高累計は、前年を下回った。
- ・名古屋店は、5月改装の本館9・10階レストラン街の売上は好調を持続した。店全体では売上、入店客数とも減。
- ・高槻店は、改装効果持続とイベント実施などで、入店客数は増加。売上減の理由は、外商の売上低減による。
- ・上野店は、法人外商部門が健闘したが、全店の売上は前年にわずかに及ばなかった。

< 主な商品別売上高概況 >

- ・婦人服・洋品は、特にヤング向け婦人衣料が苦戦。
- ・その他衣料品は、法人外商の大口受注により大幅増。
- ・家電は、昨年法人外商の大口受注の反動による減。
- ・食料品は、中元ギフト早期受注(6月にシフト傾向)の影響による減。
- ・食堂・喫茶は、名古屋店本館レストラン街の好調により、大幅増。

(注) 1、2表とも、構成比の合計は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

2007年 7月 横浜松坂屋月次営業報告

1. 店舗別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	入店客数(%)	営業日数増減
横浜松坂屋	5.5	5.2	±0日

2. 商品別売上高(対前年増減率)

	売上高(%)	構成比(%)
紳士服・洋品	19.3	3.5
婦人服・洋品	4.6	19.2
子供服・洋品	15.0	1.0
その他衣料品	23.8	1.4
衣料品計	8.6	25.0
身の回り品	16.0	2.5
化粧品	7.0	1.8
美術・宝飾・貴金属	9.2	10.7
その他雑貨	10.6	1.1
雑貨計	6.8	13.7
家具	100.0	0.0
家電	53.2	1.8
その他家庭用品	6.9	1.7
家庭用品計	15.2	3.5
生鮮食品	3.9	11.8
菓子	0.4	8.1
惣菜	3.4	10.8
その他食料品	35.5	7.9
食料品計	11.8	38.7
食堂・喫茶	1.7	1.9
サービス	18.7	7.0
その他	3.1	7.8
合計	5.5	100.0

3. 商況概況

< 主な売上高概況 >

・売上高は、対前年 5.5%。

・入店客数は、対前年 5.2%。

< 主な商品別売上高概況 >

・紳士服・洋品は、特にカジュアル衣料が苦戦。

・子供服・洋品は、前年大口特注の反動減。

・身の回り品は、特に紳士靴・婦人靴が低調。

・美術・宝飾・貴金属は美術工芸品の好調により増。

・家具は、昨年開催した家具催事を、本年は開催せず。

・家電は、大口特注により前年大幅プラス。

・サービスは各種テナント部門の好調により、前年増。

(注) 2表の構成比合計は、計算処理上必ずしも100%にはなりません。

お問い合わせ先 (株)松坂屋ホールディングス (名古屋) 052-264-7028
 広報・IR室 (東京) 03-3572-1021

Matsuzakaya
 HOLDINGS